

代表質問

区政をきく (代表質問・一般質問)

平成26年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、8名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。



移譲の見通し等は。⑩区長の3選出馬について決意は。⑪区長選挙の日程等は。

区長 ①義務を課すというよりも、条例に基づき協力し合いながら、災害対策に取り組みめるよう普及等に取り組み

②愛される道路づくり等を都に要望し、にぎわいのある道路空間の整備を都と連携し進めていく。③プレミアム付商品券販売による景気高揚、商店街振興策や区内地域経済活性化の施策を推進する。また、消費税率改定の情報提供等に努め、効果的な産業振興策を検討していく。④JR東海や国の検討動向を注視し、まちづくりビジョンについて都等との協議を進めている。⑤平成26年度から段階解消工事を4か年計画で実施していく。また、臨海都市を基本テーマとし検討を進める。⑥7駅設置を働きかけるとともに、活性化にむけた検討を行っている。⑧特別区への一層の権限移譲が進展した場合は、配分割合は見直しが行われるべきと考える。⑨協議は進展していないが、特別区が一丸となり積極的に対応を進める。⑩引き続き区長として全力を尽くすべきと考えている。

本多 健信 議員 (自民)



施政方針について

①災害対策基本条例では、自助・共助・公助の明文化と区や区民等の役割や責務について、どこまで義務化を推し進めるのか。②木密地域不燃

化10年プロジェクト事業について都と連携し、補助29号線の両側を桜並木に整備し、減災への取り組みとあわせ、にぎわいの視点を取り入れてみては。③消費増税に伴う中小企業への支援は、どのような取り組みが必要と考えるか。④品川駅周辺のまちづくりの動き等は。⑤八潮地区の道路バリアフリー化の内容やスケジュール、まちづくりの全体像は。⑥東海道貨物支線貨客併用化整備検討協議会へ、八潮地区周辺に駅を整備するよう申し入れては。⑦2020年オリンピック・パラリンピック会場予定の大井ふ頭中央海浜公園へのアクセス等、将来像への所見は。⑧都区財政調整の配分割合が特別区55%、都45%であることへの見解は。⑨児童相談所の都から区への

①文部科学省は学校施設の非構造部材の耐震化を進めるため、耐震化対策マニュアルの作成等を行う予定だ。区内校舎は万全の体制と思われるが、体育館への取り組みは。

体育館の機能強化について

①文部科学省は学校施設の非構造部材の耐震化を進めるため、耐震化対策マニュアルの作成等を行う予定だ。区内校舎は万全の体制と思われるが、体育館への取り組みは。

②運動等で体育館を使用する際には不要の冷暖房設備だが、体育館を避難所機能や多目的な用途に活用する際の、冷暖房設備について所見を。③選挙投票所等で活用する際には、昇降機等の設置も必要では。

教育長

①文科省は特定天井に加え、バスケットゴール等も対象に加えた。区では小中学校67か所の該当箇所を把握しており、26年度中に調査・設計を行い、27年度中に工事完了予定だ。②1校当たり設置に約5千万円、電気料金は年間約380万円だ。躯体の構造上、効率的な運用は難しい。③有権者が集中する際には昇降機の利用は困難だと考える。

道徳心について

①国において道徳の教科化

等の議論がされているが、26年度中に学習指導要領が改訂される見通しは。②人物伝に重きを置き、時代を超え伝えたいことを事例に取り上げては。③ごみを減らす努力や再生・活用する江戸の暮らしの工夫を現在に生かしては。④江戸の生活の知恵である「江戸しぐさ」について、こうした着眼点等についての所見は。⑤サントレ教育の全区展開等への所見は。

教育長

①国は道徳を特別な教科として、早ければ27年度から実施する予定だ。②検討に着手する。③消費者教育等で参考にする。④京陽小学校等が市民科に取り入れており、今後も成果等を研究していく。⑤26年度は3校が取り組みや成果の周知を図る。



浅野ひろゆき 議員 (公明)

防災対策の強化について

①スタンドパイプについて ⑦地域の状況に合わせて配備しては。⑧路地などに配備できない事情があれば、公園等へ簡易水道消火装置の導入を。⑨小中学校等の特定天井対策の事業費用と件数、完了時期は。⑩今後の安全対策は。防災まちづくり事業部長

①実情に応じて配備する。②費用対効果を考え、引き続きスタンドパイプの増配備等を中心に初期消火対策を強化する。③68施設でおおむね

教育に関する課題について

①教育長が感じた小中学校の現状と今後の展望等は。②いじめ対策の現状は。③ICT機器を利用した指導方法の開発は。④ICT支援員配置への考えは。⑤タブレット等の配

備にあたり、児童等の視力低下防止の取り組みを進めては。教育長 ①小中一貫教育の展開等で成果を上げてきた。今後は地域とより連携し柔軟に対応できる学校づくりをめざす。②目安箱に寄せられた相談全てに対応する等しいじめの早期発見に努めている。③子どもたち自らが芽生えてくそうとする行動が芽生えてきた。④中学生への対応の充実を図る。⑤効果的な指導方法の構築を図る。⑥区職員等で対応する。⑦学校を通じて保護者へも利用時間の制限等の取り組みを進めるよう周知する。

は。④がん検診受診率向上のため受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)をしては。⑤乳がん・子宮頸がん検診を無料クーポンで受診しなかった方へ、コール・リコールの実施と検診費用の助成を。⑥胃がんリスク検診の受診率の向上に取り組んでは。⑦国保健康管理アプリにがん検診の記録を保存できるようにしては。健康福祉事業部長 ①今後ますます増加する高齢者の健康を支えていくことなどだ。②先行自治体の実施状況を注視していく。③導入には慎重な立場だ。④電話勧奨の試行結果も踏まえ、有効な手法を検討していく。⑤検討していく。⑥より効果的な周知を工夫していく。⑦現行の健康手帳の活用を進めていく。

公共工事について

①東京オリンピック・パラリンピックに向けて公衆無線LAN環境の整備を推進しては。②品川版防災アプリの制作・提供を。③観光情報発信のための「しながわ巡りアプリ」の制作に際し7アプリを多言語対応としては。④観光マップ等と連動させては。地域振興事業部長 ①引き続き研究する。②アプリを含めた、適切な情報提供のための対策を検討する。③7アプリ多言語対応や他の観光アプリ等の研究も重ね、使い良く、品川の魅力を十分に発信できるアプリとなるよう取り組む。

①契約後の資材等の高騰に対し、スライド条項を活用し、適切な対応を図っては。②入札不調等となった場合、見積活用方式を利用した予定価格の再設定が必要では。③国等の労務単価引き上げを受け、区も速やかに労務単価の引き上げを。④オリンピック・パラリンピックの環境整備等で区が委託を受ける事業では、地元事業者を優先しては。区長 ①現在2件の工事で活用している。②研究している。③国の通知を踏まえ、準備が整い次第、新労務単価を適用する予定だ。④都が工事発注を行うが、業者選定方法も含め未定と聞いている。区が受託する場合は、区内事業者への優先的な発注を行う。

区民の健康づくりについて

①区民健康づくりプラン品川第2次計画策定の方針等は。②健康マイレージ品川版の実施を。③先進的な健康づくりに取り組み企業等を表彰して